

第24回 全国街路事業コンクール

国土交通大臣賞

兵庫県・神戸市・芦屋市・西宮市・尼崎市 山手幹線街路整備事業（震災復興事業）

都 市 名	神戸市・芦屋市・西宮市・尼崎市	事 業 主 体	兵庫県・神戸市・芦屋市・西宮市・尼崎市
事 業 概 要	山手幹線は、神戸市長田区から尼崎市ノ内町を結ぶ延長約29.6kmの都市計画道路で、4市域にまたがる東西幹線道路である。阪神間は、瀬戸内海に六甲山が迫る狭い地域に市街地が発達し、そこに東西交通の大動脈が集中している。 阪神・淡路大震災では、阪神高速神戸線の倒壊や国道43号線の交通規制等により、国道2号線に車両が集中し、大渋滞が発生したことから、避難、救援・救急、消防活動や緊急物資等の輸送に大きな支障をきたした。震災当時の山手幹線は、神戸市を除く3市域で未開通区間（5.9km）があり、十分な機能を果たすことができなかった。 震災後、山手幹線の整備の気運が一気に高まり、兵庫県と神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市が力を合わせ、震災復興の最重要路線として整備に取り組み、平成22年10月、芦屋川横断工区の供用により全線が繋がり、円滑な交通の確保と都市防災機能の向上が図られた。 ○事業延長：8,930m ○事業費：約840億円 ○幅員：22～38m ○事業期間：平成6年度～平成22年度		
表 彰 理 由	本事業により東西幹線道路が形成され、国道2号線、国道43号線から山手幹線へ交通転換されたことが渋滞緩和に寄与しており、国道のバイパスとしての機能や、災害発生時の緊急輸送道路等としての活用が高く評価された。 また、芦屋川隧道における天井川の処理方法や道路空間上の駐輪場利用をはじめ、歩道舗装や遮音壁、電線共同溝など工区毎に特色のある道路構造で整備を行っていることが賞賛された。		

